

用語の説明

用 語	内 容
N P O	民間非営利団体(non profit organization)などと訳され、非営利であること、非政府であること、自主的・自発的な活動を行う団体のこと。平成 10 年に NPO 法が成立し、法人格が与えられ社会的に認められている。
I S O 1 4 0 0 1 (国際標準化機構)	世界中全ての地域のあらゆる種類と規模の組織に適用できる環境マネジメントシステム規格をいう。
I T 化	情報技術が進化していることまた導入を推進すること。
P F I 制度	「PFI (Private Finance Initiative : プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)」とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法です。
アウトソーシング	業務の外部委託のこと。
デジタル・デバイド	パソコンやインターネットなどの情報技術(IT)を使いこなせる者と使いこなせないものとの間に生じる待遇や機会及び経済的格差のこと。
データベース	コンピュータなどで、さまざまな情報検索に高速に対応できるように大量のデータを統一的に管理したファイルまたそのファイルを管理するシステムのこと。
行政評価システム	政策、施策、事務事業について事前、事中、事後を問わず、一定の基準、指標を持って妥当性、達成度や成果の判定するシステムのこと。
余裕教室	将来とも恒久的に余裕と見込まれる普通教室のこと。
アドプト制度	住民団体などが河川や道路と「養子縁組」して里親として美化活動を展開、その見返りに団体名を記した看板を設置するボランティア制度のこと。
ごみの減容	ごみの大きさ・容量を圧縮すること。
ラスパイレス指数	地方公共団体の職員構成(学歴別・経験年数別構成)が国と同一であると仮定して、その団体の平均給与を求めた上で、国の平均給与額を 100 として算出した指数のこと。
インターネット	世界規模のコンピューター・ネットワーク。パソコン通信のように 1 台のホスト・コンピューターがサービスを提供するのではなく、全世界に分散するサーバーにより運用・管理される。
ケーブルテレビ	有線テレビのことで、多チャンネル放送がバラエティーに富んだこと、自主放送によるコミュニティ番組が地域に根づいたメディアとして評価が高まったこと、またインターネット利用者が大量に増えたことなどで普及が進んでいる。
携帯端末	携帯電話やパソコンより小型の携帯型の情報機器の総称のこと。